

宮川 洋一

【経歴・活動概要】

「まちづくり」がしたいと、愛知県に入庁。名古屋高速道路公社へ出向、設計課配属をきっかけに橋の設計に携わる。以来、橋の新設、補修・補強の設計・施工に長く(20年)従事し、県内各地の150橋以上の設計・施工にかかわる。岡崎市政100周年事業、近代土木遺産「殿橋」長寿命化工事の設計・施工に従事し、「全建賞」(2016年)を受賞。職員の技術継承を目的とした相談窓口「あいち橋の会」を有志職員とともに設立。

～歴史と地形から愛知を知る～「ブラアイチ」のプロジェクトチームに参画。市民に防災意識・まちづくりの魅力を伝える。「人々の豊かな暮らし」を支える土木インフラを通じ、地域の魅力を最大限に発揮させるため奮闘中。仕事とは別に地元岡崎乙川で仲間とともに、「殿橋洗い」「桜城橋ふき」「矢作川でロマンを掘り起こせ」など、「橋」を切り口とした、まちづくり活動を幅広く展開している。

【論文投稿・執筆】

「橋梁と基礎」建設図書、「みち」愛知県舗装協会、「技術発表」愛知県建設技術協会、「研究紀要」岡崎地方史研究会ほか「道路構造物ジャーナルNET」鋼構造物出版 連載執筆。

【メディア】

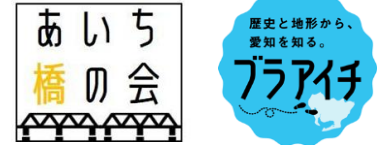
NHK BSプレミアム「新日本風土記～橋～」にて「矢作橋」「殿橋」「桜城橋」を紹介。NHK WORLDJAPAN「The Stories behind Japan's Bridges」にて英訳放映。NHK「おはよう日本」「おはよう東海」「まるっと」にて放映。東海テレビ「スイッチ～ニュースなあなた～」に出演。ニッポン放送「薬師丸ひろ子のハートデリバリー」NHKラジオ「まいあさ」などの他、地元FM局に出演。朝日新聞、読売新聞、橋梁新聞などに掲載

【講師】

「あなたの業務について考えるセミナー」愛知県都市整備協会
あいち防災リーダー会、岡崎ロータリークラブ、岡崎地方史研究会ほか



「全建賞」受賞!



「NHK おはよう東海」



「NHK WORLDJAPAN」



「東海テレビ スイッチ」



「NHK BSプレミアム 新日本風土記」



「新聞掲載」



宮川 洋一の取組み紹介

お問合せ:youichi_miyagawa@pref.aichi.lg.jpまで

人々の豊かな暮らしを支えるため、インフラを通じ、地域の魅力を最大限に発揮させる。そのためにやれることから。

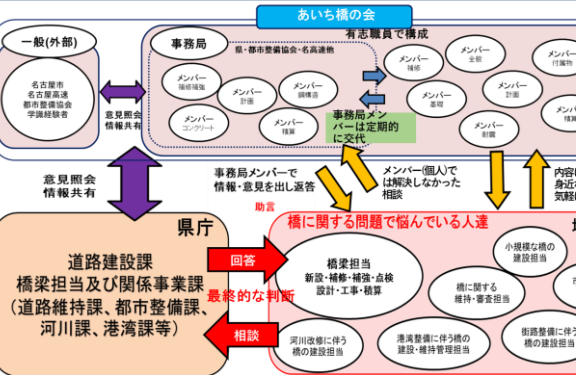
- **地域の実情、特性、橋の状態に合わせ、きめ細かく対応した橋梁設計の実践と報告**
 - 「衣浦大橋 耐震補強設計と施工」費用とメンテナンスを考慮した合理的な耐震補強設計の提案(2008)
 - 「境川橋 床版補修工事について」大断面の床版補修工法、WJ工法の工夫の提案(2008)
 - 「なめたらいかんぜよ!塗替塗装」塗替塗装に関する指南、品質向上のための様々な工夫の提案(2010)
 - 「地方自治体が管理する歴史的橋梁「殿橋」の長寿命化設計」歴史的RC橋の長寿命化設計紹介(2016)
 - 「近代土木遺産「殿橋」拡幅方法の一提案～竣工100周年に向けて～」次世代へあるべき姿提案(2017)
- **橋梁構造系を変更した補修補強設計の提案**
 - 9径間鋼ゲルバー橋の連続化設計(2016):未報
 - 補修補強を繰り返した橋梁の更なる補強設計による機能向上と長寿命化(2015)(2021):未報
 - 腐食進行したボルト継手を有する橋梁の補強設計による再資産価値向上計画の提案(2022):未報
 - 旧基準にて一体施工済の下部工を有する暫定形橋梁における二期線化事業の設計(2022):未報
 - 橋梁架替に対する最適橋梁形式の選定と設計(2022):未報
 - 橋梁単位で策定する、具体的できめ細かい橋梁長寿命化計画の策定(2023):未報



- **橋梁現場最前線の実態、地方自治体技術者としてのあり方啓発、橋梁補修専門誌へ連載**
 - 「橋梁現場対応SOS!」自治体の地方機関における橋梁現場の実態報告と啓発(2013)
 - 「地方自治体のインフラを担う技術系職員のあり方」について啓発(2015)
 - 「若手・中堅インハウスエンジニアの本音 ~マネジメントしつつ専門的知見を得ていくために~」

「論文報告」 「道路構造物ジャーナルNET連載」 「ブライイチ開催」

道路構造物ジャーナルNET:鋼構造物出版 連載執筆(2017~2019)
 「よりよい地域の未来を築くために、僕らにできること」愛知県都市整備協会市町村職員研修講演(2023)
 ● **職員の技術継承のため「あいち橋の会」を設立。~橋のことでわからない職員の支えに~**
 インフラメンテナンスの時代。高度経済成長期に作られた多くの橋(様々な時代、形式、材料、適用基準)を、橋梁現場経験のない職員が、いきなり難易度の高い、補修・補強設計・施工を担当している。設計・施工業者もノウハウの蓄積がまだ十分でなく、そもそも正解も一つでない。だれに何を聞いてよいのかもわからない。僕もそうでした(泣)。一方、愛知県にはかつて橋梁現場を担った経験豊富な先輩職員が。彼らに「あなたの存在自体が不安を抱える職員の支えとなる」と声をかけ、「あいち橋の会」を結成。



橋のことについて身近で気軽に聞ける存在。
 難易度の高いものは事務局が対応。
 さまざまな現場でおくる、最新の問題を把握でき、転動しても第一線で橋に関わり続ける仕組み。
 あなたのまちの橋についての困りごと、相談に応じ、助言します!
 お気軽にお近くの建設事務所の橋梁担当へ!!
 決して担当者を一人にしません!
 そして正式な市町支援は 公益財団法人 愛知県都市整備協会 へ!

● **~歴史と地形から愛知を知る~「ブライイチ」プロジェクトチームに参画**
 歴史と地形からまちの成り立ちを、楽しく、正しく、知り、学ぶことによって、防災意識の醸成を促す、愛知県の新たな取り組み「ブライイチ」。公募で有志職員を募りプロジェクトチームを結成。これまで13回開催。

「あいち橋の会イメージ図」

● **土木構造物の大切さとメンテナンスの重要性を伝える「殿橋洗い」「桜城橋ふき」**
 地域の大切な橋をまずは知ってほしいと「殿橋洗い」を実施。ひよんなきっかけから始まった「桜城橋ふき」。始めてみると実にさまざまな発見が。さらに続けてみると、今世の中で起こっている様々な不具合であったり、あたりまえのこと、あたりまえではないこと、普段は目には見えない大切なものがみえてくる。まかせっきりの社会からすべてがつながる自分事社会へ。ここに世の中を良くするための糸口が潜んでいることに気づく。



● **橋を切り口としたさまざまなまちづくり活動の実践**
 地域に埋もれているさまざまな魅力を掘り起こし、現代における新たな価値を加え、伝えていく。「橋」を切り口とした、まちづくり活動の実践。やれることからなんでもやっています!

みんなで! 近代土木遺産「殿橋」を洗いました!
 「殿橋洗い」
 毎月第4土曜日午後5時から ぞうきん1枚でどなたでも参加可能です。
 「桜城橋ふき」
 「地元小学生に特別授業」